

令和 8 年度後学期

理工学研究科博士前期課程

学生募集要項

早期卒業者特別入試

茨城大学大学院

英語の外部検定試験について

2020年4月より提供開始された TOEIC IP テスト（オンライン）については、実施団体による証明（実施団体が作成。様式任意。受験者の氏名、生年月日、受験日、スコア及び実施団体が採った不正行為防止対策についての記載があり、実施団体の公印が押されていること）があり、実施団体、「リモート試験官サービス」、「AI 監視サービス」のいずれかによる不正行為防止対策（本人確認及び試験中のモニタリング）が十分に行われていたと確認できる場合に限り、有効なスコアとして認めます。インターネット上に表示される自身のテスト結果(PDF ファイル) をダウンロード・印刷したものとあわせて、出願時に提出願います。

問い合わせ先：理工学研究科入学事務担当 [ao.gsse\[at\]ml.ibaraki.ac.jp](mailto:ao.gsse@ml.ibaraki.ac.jp)
※[at]を@に変換して送信願います。

【安全保障輸出管理について】

茨城大学においては、日本国政府が定める外国為替及び外国貿易法に基づき、大学として行う貨物の輸出、技術の提供、人材の交流等について、安全保障の観点から適正に管理することとしています。この取組みの一環として、外国人留学生及び外国人研究者の受入れにあたり、事前に研究内容等の確認を実施しています。

法令等により規制されている事項に該当する場合は、希望する研究に制限がかかったり、行えない場合や、教育が受けられない場合があります。また、事前に研究内容等の確認をせず、出願書類提出後に確認依頼をしてしまうと、結果次第では、出願取消になる可能性があります。必ず指導を希望する教員に、「事前の研究内容等の確認の結果、受入れに問題ないこと」の確認をしたのちに出願書類の提出をしてください。なお、研究内容等の事前の確認には1週間程度の日数を要しますので、余裕を持って確認依頼を行ってください。

入学時には、外国為替及び外国貿易法を順守する誓約書に署名していただきます。

In accordance with the Foreign Exchange and Foreign Trade Law of Japan, Ibaraki University is committed to properly managing the university's export of goods, provision of technology, and exchange of human resources from a security perspective. As part of these efforts, the University confirms the research content, etc. prior to accepting foreign students and researchers.

If any of the above items are restricted by law, there may be cases in which the desired research may be restricted or prohibited, or education may not be provided. In addition, if you do not confirm the content of your research in advance and request confirmation after submitting your application, your application may be cancelled depending on the results.

Please be sure to confirm with your preferred supervisor, after prior confirmation of your research content, that there is no problem with accepting you before submitting the application documents. Please note that it takes about one week to confirm the content of your research in advance, so please make your request well in advance.

At the time of admission, applicants are required to sign a written pledge to comply with the Foreign Exchange and Foreign Trade Law.

茨城大学大学院理工学研究科アドミッションポリシー

〔入学者に求める能力・資質〕

理工学研究科博士前期課程において、入学者に求める知識、技能及び意欲は以下のとおりである。

1. 専門とする科学・技術の分野に関する、学士課程卒業者に求められるのと同様以上の知識と技能
2. 専門知識と技能を活かし、研究者・高度専門職業人として幅広い分野で活躍することで、地域の活性化に貢献する意欲

〔入学者選抜において評価する能力・成果〕

理工学研究科博士前期課程の入学者選抜においては以下の知識、技能及び意欲を評価する。

1. 専門とする科学・技術の分野に関する、基礎的学力と技能
2. 幅広い分野で活躍するために必要な語学力
3. 問題解決に積極的に取り組む意欲

【推薦入試：理学専攻】

入学者選抜において上記の能力・資質を確認するため、面接（口頭試問を含む）においては志望研究分野の理工学的専門知識や、学修および研究に取り組む意欲・修了後の希望進路を含む進学の目的意識を評価し、学業成績及び推薦書の内容においては基礎的学力と技能・幅広い分野で活躍するために必要な語学力を評価する選抜試験を行い、総合的に判断する。

【推薦入試：量子線科学専攻及び工学系各専攻】

入学者選抜において上記の能力・資質を確認するため、面接においては志望研究分野の理工学的専門知識や、学修および研究に取り組む意欲・修了後の希望進路を含む進学の目的意識を評価し、学業成績及び推薦書の内容においては基礎的学力と技能・幅広い分野で活躍するために必要な語学力を評価する選抜試験を行い、総合的に判断する。

【一般入試】

入学者選抜において上記の能力・資質を確認するため、面接（口頭試問を含む）においては志望研究分野の理工学的専門知識や、学修および研究に取り組む意欲・修了後の希望進路を含む進学の目的意識を評価し、学業成績および TOEIC 又は TOEFL においては基礎的学力と技能・幅広い分野で活躍するために必要な語学力を評価する選抜試験を行い、総合的に判断する。

【社会人特別入試】

入学者選抜において上記の能力・資質を確認するため、面接においては志望研究分野の理工学的専門知識や、学修および研究に取り組む意欲を評価し、学業成績および推薦書においては基礎的学力と技能・幅広い分野で活躍するために必要な語学力・問題解決に積極的に取り組む意欲を評価し、志望理由書においては修了後の希望進路を含む進学の目的意識を評価する選抜試験を行い、総合的に判断する。

【大学に3年以上在学する者に係る特別入試】

入学者選抜において上記の能力・資質を確認するため、面接（口頭試問を含む）においては志望研究分野の理工学的専門知識や、学修および研究に取り組む意欲・修了後の希望進路を含む進学の目的意識を評価し、学業成績および TOEIC 又は TOEFL においては基礎的学力と技能・幅広い分野で活躍するために必要な語学力を評価する選抜試験を行い、総合的に判断する。

【外国人留学生特別入試】

入学者選抜において上記の能力・資質を確認するため、面接（口頭試問を含む）においては志望研究分野の理工学的専門知識や、学修および研究に取り組む意欲・日本語コミュニケーション能力を評価し、学業成績および TOEIC 又は TOEFL においては基礎的学力と技能・幅広い分野で活躍するために必要な語学力を評価する選抜試験を行い、総合的に判断する。

案 内

茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程は、量子線科学専攻、理学専攻（数学・情報数理、宇宙物理学、化学、生物学、地球環境科学の5コース）及び工学系各専攻（機械システム工学、電気電子システム工学、情報工学、都市システム工学の4専攻）の計6専攻で構成されています。

本研究科博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とし、その標準修業年限は2年です。

また、博士後期課程には、量子線科学、複雑系システム科学、社会インフラシステム科学の計3専攻があり、その標準修業年限は3年です。

目 次

- I. 募集人員
- II. 出願資格
- III. 出願手続
- IV. 選抜方法・合格者発表等
- V. 個人成績の情報開示について
- VI. 入学案内
- VII. 担当教員及び担当分野

[出願書類（本学指定様式）]

- 入学志願者名票
- 受験票・写真票
- 推薦書
- 宛名票

個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）に則り、出願書類等により志願者から提出された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、または提供することはありません。

I. 募集人員

専攻・コース		募集人員	試験場
		早期卒業者特別入試	
量子線科学		若干名	工学部試験場 又は 理学部試験場
理学	数学・情報数理コース	若干名	理学部試験場
	宇宙物理学コース	若干名	
	化学コース	若干名	
	生物学コース	若干名	
	地球環境科学コース	若干名	
工学系	機械システム工学	若干名	工学部試験場
	電気電子システム工学	若干名	
	情報工学	若干名	
	都市システム工学	若干名	

Ⅱ. 出願資格

「茨城大学工学部早期卒業に関する要項」第3条により早期卒業の登録を承認された者で、指導教員が責任をもって推薦できる者

Ⅲ. 出願手続

1. 出願期間及び方法

下記期間に郵送又は持参により手続を行ってください。

2026年6月15日(月)～2026年6月18日(木)

持参する場合 受付時間 10:00～11:45 及び 13:00～16:00

郵送の場合 必ず書留速達郵便とし、期間内必着とします。

2. 出願書類提出先及び問い合わせ先

問い合わせは、平日の8時30分から17時15分の間をお願いします。

【量子線科学専攻】

茨城大学理学部入試係 〒310-8512 水戸市文京 2-1-1 電話：029-228-8332

又は

茨城大学工学部入試係 〒316-8511 日立市中成沢町 4-12-1 電話：0294-38-5010

【理学専攻】

茨城大学理学部入試係 〒310-8512 水戸市文京 2-1-1 電話：029-228-8332

【工学系各専攻】

茨城大学工学部入試係 〒316-8511 日立市中成沢町 4-12-1 電話：0294-38-5010

3. 教育研究内容等の確認

必ず出願前に志望する専攻の担当教員へ連絡を取り、教育研究内容等を確認してください。

教育研究内容については、各専攻の「Ⅶ. 担当教員及び担当分野」で確認してください。

各教員の教育研究内容：<https://www.gse.ibaraki.ac.jp/research/staff/staff-master/>

4. 出願書類等

出願書類等	摘要
入学志願者名票	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入してください。</p> <p><u>※志望指導教員署名欄は、必ず事前に当該教員に連絡をとり、署名をもらってください。署名をもらうことが難しい場合は、了承を得ていることが分かる志望指導教員からのメールを印刷し、出願書類と一緒に提出してください。</u></p>
受験票・写真票	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真（縦 4cm × 横 3cm、正面上半身無帽で、出願前 3 か月以内に撮影したもの）を貼付してください。</p>
収納証明書 又は 振替払込受付証明書 （検定料）	<p>検定料 30,000 円</p> <p>次の①～③のいずれかの方法で納入し、納入後に発行される「収納証明書」又は「振替払込受付証明書」を提出してください。</p> <p>①コンビニエンスストアで納入する場合</p> <p>ア. p.23「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照の上、納入してください。</p> <p>イ. 納入後は、必ず「取扱明細書」又は「払込受領証」を受け取ってください。</p> <p>ウ. 「取扱明細書」又は「払込受領証」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。</p> <p>エ. <u>出願期間最終日の納入受付時間は 15 時まで</u>となりますので、ご注意ください。</p> <p>②クレジットカードで納入する場合</p> <p>ア. e-apply（イーアプライ）ホームページ（https://e-apply.jp/e/ibaraki-gs/）にアクセスし、納入手続きを行ってください。</p> <p>イ. 手続き完了後、支払完了後に送信されるメールに記載のある URL よりアクセスし、PDF ファイルをダウンロードの上、「申し込み明細」をプリントアウトしてください。</p> <p>ウ. 「申し込み明細」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。</p> <p>エ. <u>出願期間最終日の納入受付時間は 15 時まで</u>となりますので、ご注意ください。</p> <p>③金融機関の窓口で納入する場合</p> <p>ア. 払込用紙を出願書類提出先から入手してください。郵送希望の場合は、返信用封筒（郵便切手（440 円分）を貼り付けた角形 2 号封筒）をお送りください。</p> <p>イ. 払込用紙を最寄りの金融機関に持参して納入してください。</p> <p>郵便局、銀行、信用金庫、農協などの全国の金融機関窓口で納入できます。</p> <p>ウ. 振替払込受付証明書（お客さま用）と振替払込請求書兼受領証は、金融機関の受領印があることを確認の上、受け取ってください。</p> <p>○必ず金融機関窓口にて納入してください。</p> <p>※ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。</p> <p>○『<u>振替払込受付証明書（お客さま用）</u>』は、他の出願書類と併せて提出して</p>

	<p>ください。</p> <p>なお、『振替払込請求書兼受領証』は本人控ですので、提出する必要はありません。受験票が手元に届くまで大切に保管しておいてください。</p> <p>○払込用紙の「通信欄」、「ご依頼人」等欄の「No.」は受験番号ではありません。</p> <p>【注意事項】</p> <p>1. 納入時の手数料は、志願者負担となります。</p> <p>2. 出願書類受理後は、振込済の検定料は返還できません。</p> <p>ただし、検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、返還請求ができますので、下記に申し出てください。なお、返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。</p> <p style="text-align: center;"><u>茨城大学財務部財務課経理グループ（電話 029-228-8561）</u></p> <p>3. コンビニエンスストア及びクレジットカードで納入する場合の操作方法等については下記にお問い合わせください。</p> <p style="text-align: center;"><u>（株）ディスコ「学び・教育」出願・申込サポートセンター（電話 0120-202079）</u></p> <p>○. 入学検定料免除</p> <p>茨城大学入学者選抜試験における災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除の特別措置について</p> <p>茨城大学では、災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、本学入学者選抜試験の出願に際し、入学検定料免除の特別措置を実施いたします。</p> <p>詳細については、以下に記載する本学ホームページをご覧ください。か、茨城大学学務部入試・高大連携課までお問い合わせ願います。</p> <p>本学ホームページURL：https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/exemption/</p> <p>なお、特別措置を希望される方は、出願期間の1週間前までに入試・高大連携課までお問い合わせ願います。</p> <p><お問い合わせ先></p> <p style="text-align: center;">茨城大学学務部入試・高大連携課 TEL 029-228-8064</p>
学業成績証明書等	茨城大学長が作成したもの。
住民票 【外国籍の者のみ】	市区町村長が交付したもの。国籍、在留資格及び在留期間が明記されたものを提出してください。 出願書類に記入する氏名は、住民票記載の氏名と同一にしてください。
宛名票	本学所定のものを使用し、必要事項を記入してください。
推薦書 【本学所定の用紙】	指導教員が作成したもの。

5. 出願上の注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (2) 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 提出すべき書類の中には、発行機関において日数を要するものがあるので、早めにご用意ください。

6. 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある者で、受験上又は修学上配慮を必要とする者は、相談に応じますので、以下の「(3)問い合わせ先」へ問い合わせてください。

(1) 受験上等配慮申請書の提出方法及び提出期限

相談の結果、申請が必要と判断された場合は、以下の書類を2026年5月27日（水）午後4時までに提出してください。なお、期限までに提出できなかった者は、速やかに問い合わせ先まで連絡してください。期限を過ぎて提出した場合でも相談は受け付けますが、相談時期や内容等によっては対応できない場合があります。

- ・ 受験上等配慮申請書（以下の申請書様式を参考に作成してください）
- ・ 医師の診断書の写し又は障害者手帳の写し

※診断書が発行されず、障害者手帳も所持していない場合は、その旨を申し出てください。

(2) 受験上等配慮内容の決定

提出された書類により、受験上及び修学上の配慮について志望専攻、コースの関係教員等と相談（必要な場合は、本学において、当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うことがあります）のうえ配慮内容を決定し、受験上等配慮申請者に通知します。なお、配慮内容等の協議、また配慮を講じるにあたり、本学の関係する教職員等に個人情報通知されることとなりますので、申請に当たってはあらかじめご承知ください。

(3) 問い合わせ先

進学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する問い合わせ先

水戸：茨城大学理学部入試係 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

TEL 029-228-8332

日立：茨城大学工学部入試係 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

TEL 0294-38-5010

申請書様式（以下を例に，A4判縦により印刷してください。）

令和 年 月 日

茨城大学長 殿

申請者氏名 _____

受験上等配慮申請書

令和〇年度茨城大学大学院理工学研究科博士前期課程〇〇専攻の入学者選抜を受験するにあたり，下記のとおり配慮の申請をします。

記

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 氏名 | 年 月 日生 男・女 |
| 2. 出身学校名 | 年 月 日 卒業・卒業見込 |
| 3. 住所 〒 | TEL: |
| 4. 志願予定専攻 | |
| 5. 受験上で希望する配慮内容及び理由 | |
| 6. 修学上で希望する配慮内容及び理由 | |
| 7. 添付書類 | |

IV. 選抜方法・合格者発表等

選抜方法

面接結果、学業成績及び推薦書の内容を総合して選考します。

専攻・コース		試験科目	内容
量子線科学専攻		面接	個人面接を10～15分程度で行い、志望研究分野の理工学的専門知識や、学修および研究に取り組む意欲・修了後の希望進路を含む進学の目的意識をみます。
理学専攻	数学・情報数理コース		
	宇宙物理学コース		
	化学コース		
	生物学コース		
	地球環境科学コース		
工学系	機械システム工学専攻		
	電気電子システム工学専攻		
	情報工学専攻		
	都市システム工学専攻		

面接日時及び試験場

【量子線科学専攻】

2026年7月4日（土）9：30～ 理学部試験場（茨城県水戸市文京 2-1-1）

又は

工学部試験場（茨城県日立市中成沢町 4-12-1）

【理学専攻】

2026年7月4日（土）9：30～ 理学部試験場（茨城県水戸市文京 2-1-1）

【工学系各専攻】

2026年7月4日（土）9：30～ 工学部試験場（茨城県日立市中成沢町 4-12-1）

※受験者は、試験当日に必ず「受験票」を携帯してください。

※面接を受験しなかった場合は、合格者判定の対象となりません。

合格者発表

2026年7月15日（水）13：00（予定）

掲示（量子線科学専攻は理学部及び工学部構内、理学専攻は理学部構内、工学系各専攻は工学部構内）にて発表するとともに合格者宛てに合格通知を郵送します。

また、茨城大学理工学研究科ホームページ (<https://www.gse.ibaraki.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載します（発表当日14時以降予定）。

合格者受験番号は、必ず掲示または合格通知書により確認してください。

（注）合格者発表に関する電話等による照会には一切応じておりません。

V. 個人成績の情報開示について

理工学研究科博士前期課程入学試験の個人成績を、下記により受験者本人に限って開示します。専攻により申込先が異なるので注意してください。なお、合格者には開示しません。

1. 申込期間等

合格者発表翌日から2週間 9:00 ~ 16:00 (土・日曜日及び祝日を除く。)

2. 申込者

受験者本人に限ります。(代理人は不可)

3. 申込方法

次の書類を持参のうえ来学し、所定の申請書により申し込んでください。

① 本学の受験票

② 本人確認のできる書類(学生証、免許証、パスポート等)

③ 返信用封筒(長形3号/12.0cm×23.5cm) ※郵送希望の場合

申込者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、590円分郵便切手(書留料金を含む)を貼り付けてください。
なお、電話・郵便等での申し込みは受け付けておりません。

4. 申込先

【量子線科学専攻受験者】茨城大学工学部入試係 茨城県日立市中成沢町4-12-1

【理学専攻受験者】 茨城大学理学部入試係 茨城県水戸市文京2-1-1

【工学系各専攻受験者】 茨城大学工学部入試係 茨城県日立市中成沢町4-12-1

5. 開示方法

受験者本人宛てに、後日入試窓口にて手渡し又は書留郵便で送付します。

6. 開示内容

【評価】不合格者には、段階別(3段階)に区分して開示します。

ただし、各募集単位の不合格者(欠格者は含まない)が5人未満の場合は開示しません。

【得点】開示しません。

【順位】開示しません。

VI. 入学案内

1. 入学手続、入学料及び授業料

(1) 入学手続期間

入学手続の詳細については、合格者へ通知します。

(2) 入学手続の際に納入する金額は、次のとおりです。

入学料 282,000 円

*学生教育研究災害傷害保険 2,430 円（5を参照）

*は、入学料と併せて一括納入をお願いしております。

(3) 授業料

半期分 267,900 円（年額 535,800 円）

納入方法は、入学後に別途通知します。

(4) 学費の免除及び徴収猶予（延納・月割分納）

授業料の納入が経済的理由により困難で、かつ学業優秀な者、又は風水害の被災等の特別な事情のある者には、本人の申請に基づき、選考の上、減免または徴収猶予が認められる制度があります。制度の詳細はホームページをご覧ください。

茨城大学>経済的支援制度>学費の免除

<https://www.ibaraki.ac.jp/student/economicssupport/exemption/>

<お問い合わせ先>

茨城大学スチューデントライフサポート室 TEL 029-228-8059・8067

注1：入学手続きまでに入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び授業料が適用されることとなります。

注2：在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることとなります。

2. 修了認定及び学位

理工学研究科博士前期課程に2年以上在学し、各専攻所定の科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで学位論文審査並びに最終試験に合格した者には、次の修士の学位が授与されます。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

所 属	学 位
量子線科学専攻	修士（理学）または修士（工学）
理学専攻	修士（理学）
工学系各専攻	修士（工学）

3. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを申し出た時は、学長の許可が得られることがあります。

なお、入学年度から希望する場合は、入学手続き時に申請してください。

4. 奨学金

日本学生支援機構による奨学金のほか、地方公共団体や公益法人等の奨学団体等が行っている奨学金制度があります。

① 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学規定により、選考の上、奨学生に採用されます。ただし、外国人留学生は、原則として出願資格を有しません。詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

<日本学生支援機構ホームページ>

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

② 地方公共団体及び公益法人等の奨学金

地方公共団体や公益法人等の奨学団体が行っている奨学金制度があります。申請に当たっては、奨学団体ごとに定める募集資格等を満たしている必要があります。

本学に案内のあった募集内容については、本学ホームページ及び学内の教務情報ポータルシステムを利用し、随時在学生向けに案内しています。

③ 本学独自の奨学金

博士後期課程の学生を対象とした本学独自の奨学金制度があります。

各奨学金の詳細については、以下のホームページをご覧ください。

<茨城大学ホームページ（奨学金関係）>

<https://www.ibaraki.ac.jp/student/economicssupport/scholarship/index.html>

5. 保険制度

学生教育研究災害傷害保険は、学生が教育研究活動中に、不慮の事故や災害に遭った場合の保険制度として、国公私立を含めた全大学生を対象にした全国的な保険制度です。

また、学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課、学校行事、課外活動（大学が禁じた行為・活動を除く）及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償に対処する制度です。

(1) 学生教育研究災害傷害保険 2年間分 1,750円（加入必須）

(2) 学研災付帯賠償責任保険（Aコース） 2年間分 680円（加入必須）

なお、外国人留学生が民間アパートを借りる場合、入居保証人に迷惑がかからないようにするために、「留学生住宅総合補償」制度があります。

詳しくは、留学生担当窓口（量子線科学専攻は理学部学務グループ又は工学部学務グループ、理学専攻は理学部学務グループ、工学系各専攻は工学部学務グループ）へお問い合わせください。

※情報工学専攻入学にあたっての注意事項

情報工学専攻では、情報系学科を卒業していない方の入学も広く受け入れています。そのため、非情報系学科を卒業し本専攻に入学を予定される方には、入学前より情報系科目の基本知識の事前学習を必修科目として実施し、オンデマンドで受講して頂きます。ここで卒業学科が情報系か否かの判定は成績表の修得科目名称を用いて行い、情報系の基本となる科目が概ね履修されている場合は情報系学科、そうでない場合は非情報系学科と判定されます。また社会人特別入試で入学される方は、卒業学科の分野に関わらず、リカレント教育として事前学習が課されます。

VII. 担当教員及び担当分野

量子線科学専攻担当教員

氏名	担当分野（講義または研究）
阿部 仁	XAFSを用いた物質や材料の化学状態および局所構造解析、XAFSを軸とした新しい測定手法の開発と応用
飯沼 裕美	スピン偏極ミュオンビームを用いた素粒子実験、生体分子科学実験
池田 輝之	ナノ構造科学、熱電材料、機能材料
岩佐 和晃	中性子散乱（J-PARCなど）および放射光X線散乱（KEK PF, SPring-8）の相補利用による、新しい金属-非金属転移や磁性をもたらす電子秩序と結晶構造の相転移を探る物性物理学
岩瀬 謙二	構造・機能材料、水質貯蔵材料、中性子回折
岩本 知広	粒界・界面、接合工学、電子顕微鏡学
海野 昌喜	量子線を使ったタンパク質の構造機能相関の研究・生体高分子特論
江口 美佳	電池・エネルギー化学
北野 誉	塩基配列の多型解析・系統解析に基づく遺伝子進化の研究
倉持 昌弘	氷晶結合分子の生体機能評価、量子ビームによるナノ動態計測技術の開発
桑原 慶太郎	中性子・X線散乱実験による強相関電子系の電子状態に関する微視的研究
小泉 智	中性子小角散乱を利用したソフトマターの構造と機能に関する研究および新しい中性子散乱装置の開発
小林 芳男	液相法による機能性薄膜および微粒子の合成法の開発と量子線を利用した微細構造解析
小松 勇	計算化学を軸とした数値シミュレーションと手法開発
阪口 真	素粒子論、ゲージ理論、超弦理論
佐藤 格	天然物化学および天然物合成を指向した有機合成反応の開発
佐藤 成男	量子ビーム回折・散乱による金属マイクロ組織解析学、結晶塑性学
佐藤 大輔	機能性ペプチドの設計合成と構造機能相関解析
庄村 康人	金属タンパク質の生合成・機能に関する量子線構造化学
鈴木 徹也	鉄鋼材料、軽金属材料の塑性加工、マイクロ組織制御
田代 優	異種金属接合、表面処理（めっき）、物理化学
田中 伊知朗	水素・水和水に関する量子線構造生物学と中性子利用法の開発
田村 潔美	心血管システムに関わる分子生理学的機構の解明に関する研究

鳥 養 祐 二	福島復興のための放射性核種の環境動態に関する研究、核融合炉燃料の安全取扱に関する研究
中 川 尚 子	統計力学、非線形非平衡系の物理学、理論生物物理学
長 川 遥 輝	触媒材料、光化学、電気化学
中 島 光 一	溶液反応化学に立脚した機能性セラミックスの合成と構造解析
永 野 隆 敏	第一原理分子動力学法を用いた表面、界面の構造安定性や評価
中 野 岳 仁	配列ナノ空間を用いた新物質開発と、光学、磁性、ミュオン、中性子などの手法を用いた物性研究
中 村 麻 子	放射線誘発性疾患の細胞生物学的研究および放射線定量バイオマーカーに関する研究
西 剛 史	高温における熱物性評価、局所構造解析
西 川 浩 之	分子性導体を中心とした機能性物質の開発と物性に関する研究
西 野 創一郎	軽量化設計工学、材料強度学、材料加工学（塑性加工学）
能 田 洋 平	量子ビーム科学、高分子化学
百 武 慶 文	素粒子論、弦理論
福 井 隆 裕	物性理論
福 元 博 基	電子・光機能性 π 共役高分子の合成・評価と量子線を利用した構造解析
藤 澤 清 史	生体関連遷移金属モデル錯体の構造と分光学的性質の研究
星 川 晃 範	中性子およびX線による水素結合に関連した材料の研究と装置開発
細 谷 孝 明	X線および中性子回折を用いた有機固相反応の研究と中性子回折測定制御系の研究開発
前 田 知 貴	化学合成，ナノ・マイクロ構造解析，物性評価の3つの技術を駆使した機能性ソフトマテリアルの創製
丸 山 龍 治	中性子の光学的性質を利用した中性子ビーム制御技術の開発とその応用研究
森 一 広	中性子・X線による蓄電池材料等の構造研究および構造データを活用した材料開発
森 川 敦 司	耐熱性高分子および分岐高分子の合成
森 聖 治	量子化学を基盤とする化学反応機構に関する理論的研究
山 内 紀 子	機能性微粒子の合成および表面改質
山 口 央	ナノ多孔質材料を利用したナノバイオデバイスの開拓に関する研究
山 口 峻 英	金属イオンを含むタンパク質の構造と機能に関する研究

山下 公子	素粒子現象論、宇宙論
横森 創	新規分子性結晶の合成および構造と電子物性（電気伝導性・磁性・発光性）の相関の解明
横山 淳	超伝導などの量子多体現象に対して巨視・微視測定（量子ビーム）を用いた研究
柳 玉恒	計算機シミュレーションを援用した金属材料の設計、プロセス開発、組織制御および特性向上

【連携大学院教員】

池田 篤史	放射光X線分光と理論計算、計量化学（ケモメトリクス）
香川 博之	有機機能性材料、高分子材料に関する研究
木名瀬 栄	放射線防護、特に人体影響評価を目的とした放射線及び線量の測定・評価
日下 良二	核エネルギー化学、レーザー分光、界面化学、溶媒抽出金属分離
近藤 恭弘	加速器技術・高周波加速器
筒井 智嗣	量子ビーム（主として放射光）の横断的利用による物質科学
肥後 祐司	高温高圧環境下における結晶構造・物性の放射光X線その場測定
平出 哲也	放射線化学、陽電子（電子の反粒子）・ポジトロニウム（電子と陽電子の結合状態）科学
星野 真人	放射光X線画像計測手法および計測装置の開発に関わる研究
森岡 孝満	放射線発がんリスクとそのメカニズムに関する研究
安野 聡	放射光硬X線光電子分光計測技術開発と応用

理学専攻担当教員

コース	氏名	担当分野（講義または研究）
数学・情報数理	逢澤正嵩	星・惑星系の観測的研究、データ天文学
	安藤 広	偏微分方程式論
	金久保有輝	量子群の表現論
	鈴木香奈子	偏微分方程式論、非線形現象の解析
	長谷川雄央	ネットワーク科学
	藤間昌一	数値解析、計算アルゴリズム
	村重 淳	非線形波動、数値解析
	渡邊辰矢	数理モデル、数値計算
宇宙物理学	加賀谷美佳	ガンマ線天文学、ガンマ線計測技術に関する研究
	片桐秀明	宇宙高エネルギーガンマ線の観測による宇宙線の研究
	釣部 通	理論天体形成論、宇宙流体力学
	米倉 覚 則	電波天文学、星形成
化学	大橋 朗	液液界面を反応場として利用した合成、分離、検出法の開発
	神子島博隆	金属化合物を用いる新規合成反応の開発
	島崎 優 一	生体関連配位子を用いた金属錯体の合成・反応性に関する研究
	【連携大学院教員】	
	竹澤 由高	近赤外用耐熱性プラスチック光ファイバー、高熱伝導性材料
	松本和弘	金属錯体を触媒に用いた有機合成反応の開発、構造制御シロキサン材料の開発

コース	氏名	担当分野（講義または研究）
生 物 学	及川 真平	植物の生理生態学、地球環境変化への植物の応答
	加納 光樹	汽水・淡水魚類の保全生態学
	北出 理	シロアリ類と共生微生物の生態学・進化学
	小林 優介	葉緑体DNAの遺伝および葉緑体の細胞内共生に関する分子生物学的研究
	鈴木 匠	神経細胞の多様性創出と神経回路の形成機構に関する研究
	中里 亮治	湖沼の生物群集の多様性と湖沼環境保全に関する研究
	二橋 美瑞子	昆虫の色素合成の分子基盤、動原体の進化に関する研究
	野田 悟子	シロアリ類の共生微生物の進化に関する研究
	松本 哲也	サトイモ科植物（とくにテンナンショウ属）の繁殖生態学
	諸岡 歩希	社会性昆虫の生態・分類・系統学的研究及び寄生線虫の研究
地球 環 境 科 学	岡田 誠	古地磁気学、古海洋学、その他堆積物を用いた古環境変動復元に関する研究
	河原 純	固体地球物理学（地震波の伝播と地震動の研究）
	北 和之	大気環境科学（オゾンなど、地球環境に重要な大気物質の研究）、人工衛星等からの地球大気のリモートセンシング
	野澤 恵	太陽観測、シミュレーションを軸に太陽及び天体物理に関する研究
	橋爪 光	同位体地球化学・宇宙化学（地球および太陽系物質進化の解明）
	長谷川 健	火山学、岩石学、地球化学（特に、地質学および岩石学的手法による、火山の噴火史や深部マグマ系の解明）
	藤谷 渉	宇宙化学、惑星科学、隕石学（特に隕石の同位体分析による初期太陽系に関する研究）
	細井 淳	地質学、構造地質学（背弧拡大テクトニクスの研究）
	山口 直文	堆積学（沿岸域の地形や地層の形成ダイナミクス）
	山田 卓司	地震学（特に地震と火山の震源物理学）
	若月 泰孝	気象・気候学（降水や災害に関連する大気現象の観測・解析・予測）

工学系各専攻担当教員

専攻	氏 名	担当分野（研究分野）
機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻	石 塚 悦 男	核融合炉を含む次世代革新炉に関する研究、医療用RI製造等を含む放射線利用に関する研究、文化系も含めた研究分野を横断する研究
	岩 崎 唯 史	生命情報科学、システムバイオロジー、定量生物学、神経回路
	長 真 啓	磁気浮上アクチュエータの設計と制御
	尾 島 裕 隆	画像処理・計測、制御
	尾 関 和 秀	生体材料、薄膜形成法、無機材料
	小 貫 哲 平	ナノ材料、マイクロシステム工学、光応用生産技術
	北 山 文 矢	リニア振動アクチュエータ、磁気ギア
	久 語 輝 彦	原子炉物理学、原子炉設計、原子力科学の応用
	倉 本 繁	金属加工、材料設計、構造用金属材料
	小 林 純 也	塑性加工、金属組織制御
	近 藤 久	知能情報学、人工知能、機械学習
	境 田 悟 志	熱流体
	酒 井 康 行	燃焼、化学反応速度論、反応モデリング
	清 水 淳	マイクロ・ナノトライボロジー、超精密加工
	清 水 年 美	分布定数系の振動制御、機械力学、制御工学、メカトロニクス、ロボット工学
	城 間 直 司	移動ロボット、遠隔操作技術、コンピュータビジョン
田 中 光 太 郎	熱工学、燃焼工学、レーザー計測	

専攻	氏名	担当分野（研究分野）	
機械システム工学専攻	田中伸厚	数値流体解析（CFD）、海洋エネルギー、原子力工学、環境工学	
	中村雅史	環境調和型設計、高分子材料の強度信頼性	
	長山和亮	生体医工学、メカノバイオロジー、マイクロ・ナノ計測・操作	
	西泰行	流体工学、流体機械	
	福岡泰宏	生物型ロボット、メカデザイン	
	道辻洋平	機構ダイナミクス学、鉄道車両のダイナミクスと制御	
	松村邦仁	熱工学、熱流体工学、気液二相流	
	森孝太郎	材料力学、スマートマテリアル	
	森善一	介護福祉ロボティクス、感性ロボティクス、メカトロニクス	
	矢木啓介	装着型ロボット、メカトロニクス、運動解析、システム同定	
	山崎和彦	レーザ加工、微細加工	
	楊子江	不確かさを有するシステムの適応学習制御、制御システムのモデリングと同定	
	李艶栄	熱流体工学	
	【連携大学院教員】		
	粉川広行	衝撃工学、構造工学、キャビテーション損傷	
永井晴康	環境中物質動態、特に大気拡散シミュレーション		
濱田一弥	核融合エネルギー工学		

専攻	氏名	担当分野（研究分野）
電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 専 攻	青野友祐	固体物性、ナノサイエンス
	岩路善尚	モータ制御、モータ応用システム
	内田晃介	電力工学
	鵜野克宏	レーザ応用計測、光情報処理
	鵜殿治彦	電子材料、半導体デバイス、エネルギー変換デバイス
	北野健太	レーザー、量子制御
	木村孝之	撮像デバイス、集積回路
	小峰啓史	機能材料工学、デバイス工学
	坂根駿也	薄膜、ナノ構造、熱電材料、半導体、赤外受光素子
	島影尚	超伝導エレクトロニクス
	祖田直也	電磁界数値解析、非線形材料特性
	孫冉	光無線通信、レーダイメージング、IoT
	武田茂樹	無線通信システム、アンテナシステム
	田中正志	エネルギー変換
	那賀明	光通信工学
	中村真毅	レーザ工学、レーザ開発、非線形ファイバ光学
	宮嶋照行	通信方式、信号処理
	柳平丈志	高電圧パルスパワー工学
	横田浩久	光エレクトロニクス、光通信システム
	王瀟岩	通信・ネットワーク工学
	【連携大学院教員】	
	半澤信智	光ファイバおよび光デバイスに関する研究
	松井隆	光通信システム工学

専攻	氏名	担当分野（研究分野）
情報	易 利	電磁波によるセンシング技術、テラヘルツ波応用、信号・画像処理
	梅 津 信 幸	画像処理、ユーザインタフェース、メディアアート
	大 瀧 保 広	ネットワークシステム、セキュアプログラミング
	加 納 徹	画像計測、学習支援システム、XR
	小 澤 佑 介	デジタル変復調、無線/光無線通信システム
報	笹 井 一 人	複雑形科学、エージェント工学、理論生命科学
	佐 々 木 稔	自然言語処理システム、情報検索モデル
	佐 藤 勇 起	拡張現実（AR/VR/MR）、人工知能、動揺病軽減、身体性拡張、製造業DX
工	柴 田 傑	バーチャルリアリティ、身体動作伝承支援、可視化、学習支援
	鈴 木 智 也	非線形時系列解析、複雑系、カオス、人工知能
学	竹 田 晃 人	乱雑系の統計物理学及びその情報科学への応用
	外 岡 秀 行	リモートセンシング、画像処理、空間情報システム
	羽 淵 裕 真	通信の方式と理論に関する研究
	原 口 春 海	最適化手法や機械学習を用いた生産システムの生産性向上に関する研究
	藤 芳 明 生	形式言語理論、グラフアルゴリズム
専	水 高 将 吾	ネットワーク科学
	宮 島 啓 一	確率システム論、形式化数学
	宮 本 賢 伍	多元環の表現論とその応用、カードベース暗号
	山 本 剛 大	計算力学、材料力学、有限要素法
	米 山 一 樹	暗号理論、プライバシー保護
攻		

専攻	氏名	担当分野（研究分野）
都市システム工学専攻	熊澤 貴之	建築都市デザイン、建築意匠、建築設計、建築計画、景観設計
	車谷 麻緒	計算力学・応用力学・構造物の非線形数値解析法
	桑原 祐史	衛星リモートセンシングデータの処理／解析技術、各種国土情報の計測・解析、CO ₂ 濃度と地域特性の分析技術
	原田 隆郎	社会基盤施設の維持管理工学／AI（人工生命）技術を利用したマネジメントシステムの開発
	肥田 剛典	杭基礎の耐震性や構造ヘルスマモニタリング、地震時の室内被害や人的被害の予測に関する研究
	平田 輝満	交通システム工学、運輸政策、都市・交通システムの環境影響評価、災害時交通運用、航空交通と空港計画
	藤田 昌史	水環境工学、水処理工学
	増永 英治	海洋物理学、水産海洋学
	横木 裕宗	沿岸域の物理環境解析、沿岸域における気候変動への適応策

茨城大学入学者選抜試験における災害救助法等の適用地域 の被災者に対する入学検定料免除の特別措置について

令和8年4月

茨城大学では、災害等で被災した受験生の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜試験の出願に際し、入学検定料免除の特別措置を実施いたします。

この特別措置を希望される方は、入試・高大連携課までお問い合わせ願います。

1. 特別措置の対象となる入学者選抜試験

令和8年度中に実施する本学学部等・大学院・専攻科の入学者選抜試験（学部3年次編入学を含む。）

2. 措置内容

入学検定料の免除

3. 対象者及び対象にする災害

上記1の本学入学者選抜試験に出願する方で、次のいずれかに該当する方

- (1) 平成23年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災した方で、次のいずれかに該当する場合
 - ① 主たる家計支持者が所有する家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - ② 主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
- (2) 居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された方

4. 申請方法

申請希望者は、各入試の出願受付開始1週間前までに事前に茨城大学学務部入試・高大連携課（029-228-8064）に連絡し、相談してください。その後、該当すると判断された方は、「入学検定料免除申請書」（所定の様式）及び下記事由に関する証明書等（写し可）を提出してください。

- (1) 平成23年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災
 - ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」
 - ② 主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
◆主たる家計支持者の「死亡又は行方不明を証明する書類」
- (2) 居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された方
◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」又は「被災証明書」等

(注) 1 入学検定料免除申請書については、事前に茨城大学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、入学検定料免除のための事由に関する証明書（罹災証明書等）を添付し、提出してください。出願時までには、証明書を提出できない方は、入学願書提出日までに入学検定料を納入し、出願手続きを行ってください。後日、入学検定料免除申請書類が揃いましたら、入学検定料相当額を返還いたします。

2 入学検定料免除の審査結果は、原則として出願書類受理後に本学から送付します。

【本件問い合わせ先】

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1

茨城大学 学務部 入試・高大連携課

T E L 029-228-8064 F A X 029-228-8603

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください (インターネット登録不要)

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON **Loppi** MINISTOP **Loppi**

<https://www.lawson.co.jp>
<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。




「**各種申込(学び)**」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門・小・中・高校等お支払い

あなたも、コンビニ、
FamilyMart


マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**保険/学び・教育**」よりお申込みください。



保険/学び・教育
↓
学び・教育
↓
大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

茨城大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票/申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi, マルチコピー機)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



*出願期間最終日の支払受付時間は15時までとなります。 *お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払 hands 手数料が別途かかります。

払 hands 手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	605円
	入学検定料が5万円以上	825円

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

② お支払い後チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**払込受領証**」(Loppi)。



(ファミリーマート)

② お支払い後受領書(レシート)をお受け取りください。



3 出願

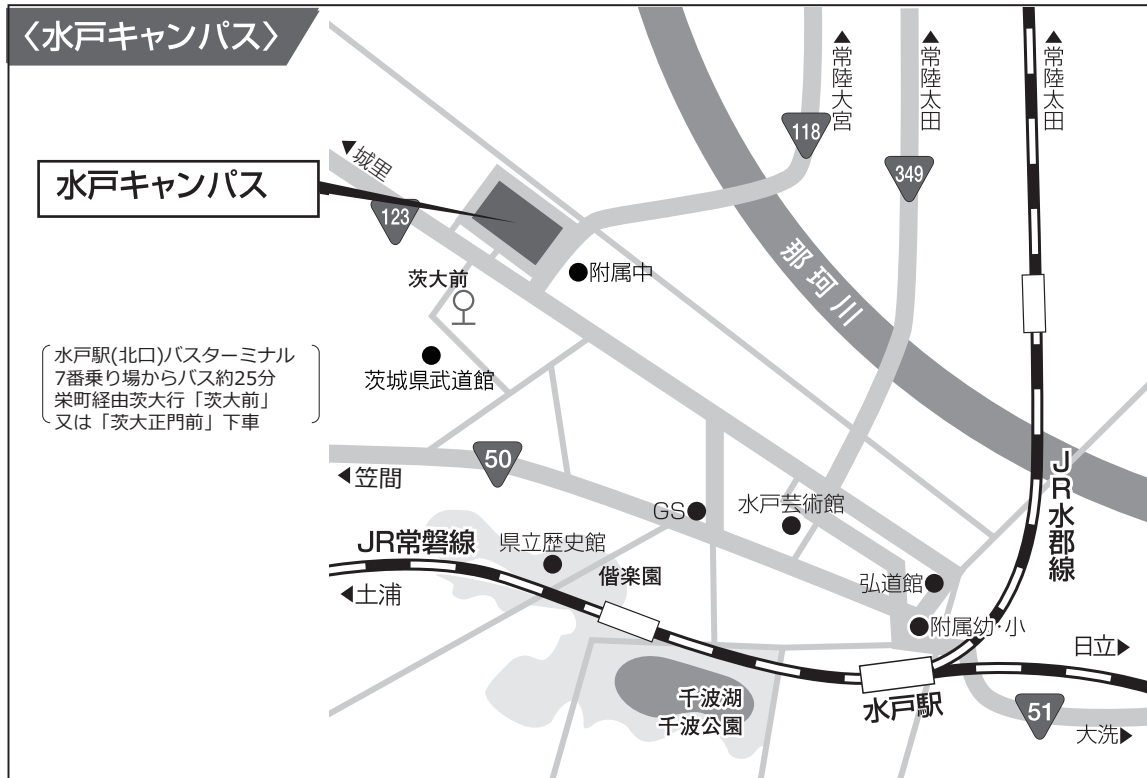
「**取扱明細書**」または「**払込受領証**」の「**収納証明書**」部分を切り取り、他の出願書類とともに提出してください。

受領書(レシート)を他の出願書類とともに提出してください。

◎試験場等案内

水戸キャンパス：<https://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/mito/>

日立キャンパス：<https://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/hitachi/>



令和8年度後学期 茨城大学大学院理工学研究科 博士前期課程 入学志願者名票

				受験番号	※
志望専攻					専攻
志望コース	理学専攻のみ				コース
志望指導教員名				志望指導教員署名(☆)	
(☆)志望指導教員の署名をもらうか、了承を得ていることが分かる志望指導教員からのメールを印刷し、添付してください。 メール添付の場合は、右の□に✓を入れてください。					
□メール添付					
フリガナ			男・女	生年 月日	昭和 平成
氏名				年	月 日 (才)
出願資格	大学		学部		学科
	高等専門学校				学科・専攻
昭和・平成・令和 年 月 卒業・卒業見込 修了・修了見込					
志願者連絡先	E-mail(所属大学等): _____ @ _____			E-mail(その他): _____ @ _____	
	住所	(〒 -)	TEL ()	-	
志願者本人以外の連絡先	〒 -	TEL ()	E-mail @		
	住所				
	フリガナ			本人との	
	氏名			関係	
学歴	年 月	在学年数	入学 同校卒業		
	年 月	年	入学 同校卒業(修了)・見込		
	年 月	年			
	年 月	年			
	年 月	年			
職歴	年 月	在職年数			
	年 月	年			

- 記入上の注意
- 1 ※印の欄は、記入しないでください。
 - 2 学歴は、高等学校以上を記入してください。ただし、国外の大学を卒業又は卒業見込みの者は、小学校から記入してください。また、国内の大学で研究生の経歴のある者は、学歴欄に記入してください。虚偽の記入をした者は、入学を取り消すことがあります。

令和 8 年度後学期
 茨城大学大学院理工学研究科
 博士前期課程
 受験票

受験番号	※	
志望専攻	専攻	
志望コース	理学専攻のみ	コース
フリガナ 氏名		男・女

- 記入上の注意
- 1 ※印の欄は、記入しないでください。
 - 2 氏名は、戸籍又は住民票のとおり記入してください。

令和 8 年度後学期
茨城大学大学院理工学研究科
博士 前期 課程
写 真 票

受験番号	※	
志 望 専 攻	専 攻	
志 望 コー ス	理学専攻のみ	コー ス
フリガナ 氏 名		男・女

写 真
写真を貼る前に 裏面に氏名を記入 してください。

- 記入上の注意
- 1 ※印の欄は、記入しないでください。
 - 2 氏名は、戸籍又は住民票のとおり記入してください。
 - 3 写真は、縦 4cm×横 3cm 正面上半身無帽で、出願前 3 か月以内に撮影したものを貼付してください。

早期卒業生特別入試用

受験番号	※
------	---

推薦書

年 月 日

茨城大学長 殿

学 部 名 _____

推 薦 者 職 名 _____

推 薦 者 氏 名 _____ ⑩

下記の者は、学業成績が優秀であり、理工学研究科博士前期課程の入学者として、ふさわしい資質を持つ者として推薦します。

記

志願者氏名 _____ 生 年 月 日 昭和 _____ 平成 _____ 年 月 日 生

志望専攻名 _____ 専攻

志望コース _____ コース（理学専攻のみ）

推 薦 理 由	
------------------	--

注： 推薦理由については、志願者の特性が良くわかるよう、勉学や卒業研究への取り組みの状況、大学院での志望研究分野と研究遂行能力に対する所見などについて、具体的に記入してください。用紙が不足する場合は、別紙に記入してください。

宛名票

住所は合格通知書等及び入学書類等を受け取る場所を記入してください。

氏名は必ず志願者本人の氏名を記入してください。

※欄は記入しないでください。

①合格通知書用

②入学書類用

(入学書類には入学料振込用紙を含む)

③連絡用

①

郵便番号：

住所：

名前：

受験番号：※

②

郵便番号：

住所：

名前：

受験番号：※

③

郵便番号：

住所：

名前：

受験番号：※

茨城大学大学院 理工学研究科入試係

茨城大学ホームページ

<https://www.ibaraki.ac.jp/>

理工学研究科ホームページ

<https://www.gse.ibaraki.ac.jp/>

理学部入試係

〒310-8512 水戸市文京2丁目1番1号

工学部入試係

〒316-8511 日立市中成沢町4丁目12番1号